



# あゆっ子

学校教育目標「ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子」 No.4

## 元気に育て！あゆっ米！

### ～ 受け継がれる、伝統の米作り ～

5/21に5年生を中心に種まきをした『あゆっ米』。ぐんぐん育ち、いざ田植え・・・の予定でしたが、用水のポンプの故障や悪天候・・・。ようやく6/24（月）に、無事、田植えを行うことができました。子供たちは、「真夏日」で日射しの強い中、田んぼの水や土の感触を味わいながら、時に田んぼ周辺の生き物とも触れ合いながら、楽しんで活動しました。また、5・6年生が優しく丁寧に下級生に田植えの指導や手伝いをする姿は、まさに下阿多古小の良き「伝統」として受け継がれてきたものだと実感することができた光景でした。今年度の田植えでは、作物を育てる楽しさとともに、思い通りにならない自然の厳しさも感じられたことと思います。



米作りの活動は、まだ始まったばかりです。今後、すがい作り、稲刈り、脱穀等、1年を通して取り組んでいきます。また、「米作り」に関係することで各学年の学習内容に関係しそうなことや、子供たちがやってみたいことを挙げ、計画を立て取り組んでいく予定です。年度当初にもお伝えした「あゆっ米」の販売も考えています。それらを通して、地域の自然、地域の人、地域の文化を愛する心を育てていきたいと思えます。

実施日が二転三転するなか、当日、早朝より一緒に活動し、サポートして下さった保護者の皆様、御指導して下さった青葉会の皆様、本当にありがとうございました。今後とも、「あゆっ子」の学びのサポートをよろしくお願いいたします。

## 6月12日は「いのちについて考える日」

浜松市では、毎年6/12を「いのちについて考える日」としています。過去に浜松市内で起こった悲しい出来事を二度と繰り返すことがないように、浜松市の子供たちに命の大切さを考えてもらうためです。

下阿多古小においても、6/12に会礼を行いました。今回はお話を聞くのではなく、簡単な活動を通し、「支え合うことの大切さ」に気付くことを目的とし、会を進めました。

活動は、全校を単位としたものと、学年を単位としてグループを作って行うものを行いました。男女分け隔てなくたくさんの子と交流しながら、時に担任も一緒に入りながら楽しく活動する姿がとても微笑ましく、仲の良さを感じるひと時でした。また、子供たちからは「支えてもらえてほっとした」「1人より2人以上に支えてもらうとちょっと安心できた」などの活動の感想と共に、6年生からは、それが「友達関係でも言える」との発表もありました。



この下阿多古小で出会えた友達に対して、そして四小連合の活動などで出会った友達に対して、これから出会う友達に対して、この日の「支え合い」で感じた安心感を思い出し、支え合える仲間をたくさん増やして行ってほしいと思えます。

